

令和5年12月門川町定例教育委員会会議録（概要版）

- 1 日 時 令和5年12月27日（金） 午前8時50分～午前10時18分
- 2 場 所 災害対策室
- 3 出席委員 金子文雄教育長、新名章教育長職務代理者、黒木昌代委員、金丸眞委員、山倉照子委員
- 4 事務局 大澤教育課長、奈須教育課長補佐
- 5 議 案 ・議案第16号 令和6年度校区外通学許可申請について
- 6 その他 ・令和6年「二十歳の記念式」について
・令和5年度「わたしたちの思いを語る会」について
・教育委員会1月の行事予定について
・1月定例会の日程について

7 会議の概要

(1) 開会（午前8時50分）

(2) 会議録の承認

教育長から12月定例教育委員会の会議録の承認が諮られ、承認された。

(3) 教育長あいさつ

本日は2学期最終日であり、各校で終業式が予定されているが、町内を見るとインフルエンザが増加しており、学校によっては学級閉鎖がなされたところもある。コロナの5類移行の影響によるところもあろうかとは思いますが、これまでに定着してきた手洗い・うがい習慣等の意識を継続していく必要があると考えている。

2学期は学校行事等が多く、委員各位には、先般の草川小学校の公開授業等にも参加いただき、あらためてお礼を申し上げたい。

また、本日は定例教育委員会の後に第1回総合教育会議も予定されており、よろしく願いしたい。

(4) 教育長報告

・12月業務報告

- 5日 議会・開会
- 6日 町議会・一般質問
第2回拡大中学校運営協議会
- 7日 町議会・一般質問
町内小中学校下校時避難訓練
- 8日 ふるさと門川応援資金贈呈式
第2回門川小学校支援訪問
- 9日 市町村対抗駅伝選手激励

- 10日 第19回門川町福祉推進大会
- 11日 令和6年度当初予算教育長ヒアリング
- 12日 議会・閉会
- 13日 校長フィードバック面談（門小・草小・五小）
- 14日 校長フィードバック面談（門中）
- 15日 第2回草川小学校支援訪問（ICTモデル校公開授業）
- 18日 定例校長会
第2回学校安全連絡協議会
- 20日 定例課長会
- 21日 草川小学校 PTA 表敬訪問
- 22日 12月定例教育委員会
第1回総合教育会議
県立高等存続調査会（門川高校）
- 25日 二十歳の記念式打ち合わせ
市町村対抗駅伝打ち合わせ
- 26日 地区会長会
- 28日 仕事納式

・12月校長会の議事予定報告

金子教育長が校長会資料に沿って報告

- ①「町の幸福度&住み続けたい街ランキング2023」の宮崎県版について
- ②令和6年度の主な行事予定について
- ③冬季休業中のサービス管理について
- ④門川町全校児童生徒表彰の推薦依頼について
- ⑤門川町総合文化祭作品展のお礼と報告について
- ⑥学校経営について
 - ・学校支援訪問、研究公開等の実施の成果について
 - ・門川町総合教育会議「不登校の現状と課題、今後の支援の在り方」について
 - ・次年度の構想、予算の見通しについて
- ⑦学力向上について
 - ・年度末のまとめ・評価・フォローの計画立案について
 - ・具体的な実践事項の検証を共通理解のもと実施することについて
 - ・全国学力・学習状況調査に向けた取組の意識付けについて
- ⑧生徒指導について
 - ・SPSの推進・小中高の連携と次年度の予算化について
 - ・いじめに関する指導の充実（不登校・いじめ緊急対策パッケージ）について
- ⑨人材育成（人事異動に関する意識付け、キャリアプランの助言、校長フィードバック）について

- ⑩下校時避難訓練の振り返りと今後の課題について
- ⑪学校給食費の見直しに関する文書配布について
- ⑫12月議会の一般質問概要について

大澤教育課長から、12月議会一般質問のラジオ放送実施について報告。

(5) 議事

- ・議案第16号 令和6年度校区外通学許可申請について

黒木学校教育係主査が資料に沿って説明。

校区外通学許可が相当と認められる事由に関する規程の改正について報告するとともに令和6年度における校区外通学許可申請について、門川町立小中学校通学区域に関する規則第4条に基づき教育委員会に諮るものである。

○新名章委員

資料で見ると門川小学校から他校への通学許可申請が多いようだが、その背景等はどうか。また、学級編成への影響があることから、各校長とは連絡・連携を図ってもらいたい。

●黒木学校教育係主査

父母の就労により祖父母宅へ帰宅するケースが大半であり、対象の児童生徒は今年度の46名から来年度は25名になる見込みであるが、これは今年度、小学6年生が多かったことによる。

●金子教育長

あくまで居住地によることであるが、他校から門川小学校への申請もあり、小学校は3校の距離が近く密集していることも一因として考えられる。

学級編成への影響については、担当者から各校長へ速やかに通知を行っており、また、北部教育事務所への連絡等スムーズな対応に努めたい。

●金子教育長 承認いただけるか。

○委員 はい。

(6) その他

- ・令和6年「二十歳の記念式」について

岩佐社会教育係主事が資料に沿って日程及びプログラム等の説明を行い、教育委員各位へ出席を依頼。

- ・令和5年度「わたしたちの思いを語る会」について

黒木学校教育係主査が資料に沿って日程及びプログラム等の説明を行い、教育委員各位へ出席を依頼。

- ・教育委員会 1月の行事予定について
奈須教育課長補佐が資料に沿って説明。

- ・1月定例会の日程について
1月25日（木）午前9時から

○金丸眞委員

宮崎市町村対抗駅伝競走大会は、以前は2チーム編成していたりもしたようだが、今回は1チームの出場となるのか。

●大澤教育課長

出場選手の当日の体調不調等に備えてサポートメンバーも含めた編成をしなければならないが、募集を行っても2チーム編成できるほど選手を集めることが難しくなっており、少数精励のチーム編成を行っている。

○黒木昌代委員

県立高等学校存続調査会に関して、先日の下校時避難訓練においても門川高校生が参加してくれ心強く思った。地域にとって若者の力がありがたく、なくてはならないものであり、私も門川高校の存続を願っている。

●金子教育長

地域にとって町内に高校が在るのは大事な要素であり、門川高校の存続を求めていきたい。また、今後は、小・中・高校の連携といったことも積極的に取り入れていきたいと考えている。学習面、生活面はもとより日常の町の取り組みに対しても大変ご理解いただきありがとうございます。今般の県議会調査等、機会を捉えて門川高校の大切さといったことを伝えていきたい。

○金丸眞委員

生徒数の減少といったことが門川高校の存続が危ぶまれる要因として考えてよいのか。どのような状況であるのか。

●金子教育長

そのとおりである。

今年は定員の充足率は高まってきており、今年のオープンスクールでは募集定員を超える応募があったと聞いている。

少子化の折、どの高校でも存続が懸念されることであるが、県内では自治体のバックアップによって盛り返している例もある。

門川高校では、門川中学校卒業生の受け入れを始めとして、近年、地域の評判は高まっており、県立学校であるが、本町としても存続のための取り組みを考えていきたいと思っている。

8 閉会（午前10時18分）

この会議録は、真正であることを認め、ここに署名する。

...(教育長).....

...(教育長職務代理者).....

...(委員).....

...(委員).....

...(委員).....

...(事務局).....